

ヒューマンライブラリーへの誘い

～多文化共生社会を志向する際の「多様性」を考える

今回は、学会ならではの研修企画として、日本語教育学会との連携を進めている異文化間教育学会より工藤和宏さんを講師に招き、ヒューマンライブラリーのワークショップを実施します。

多文化共生社会という言葉が使われるようになって久しく、多様性を認めましょう、多様性を受入れましょうといった呼びかけも長らく行われています。しかし、実際のところ、私たちは異なるものに対して違和感や不快感を持つことが少なくありません。

この研修では、異なるものへの違和感や偏見を軸にしながら、多文化共生社会を志向する際の「多様性」について考えたいと思います。

ヒューマンライブラリーとは、障がい者・同性愛者・アルビノ・薬物依存からの回復者・難民など、誤解や偏見を受けやすい人々を、「生きている本」として貸し出す取り組みです。「本」と「読み手」が対話を通し、自らの固定観念に気づき多様性に対して開かれた社会や地域づくりを目指します。

多様性を認めなければならないと思いつつ、心のどこかで違和感を持ってしまう、多様性ってそもそも認められるのかと思っている、そんな方の参加歓迎です。「生きている本」との実際の対話やヒューマンライブラリーの作り方の解説を含め、多様な参加者による深い議論ができる場にしたいと考えています。ぜひ奮ってご参加ください。

◆日時：2012年10月27日（土）13:00～17:00

◆当日スケジュール：

13:00-13:45 ヒューマンライブラリーとは何か（目的、歴史、効果、理論）

13:45-14:15 ヒューマンライブラリー体験（1）

休憩<15分>

14:30-15:00 ヒューマンライブラリー体験（2）


休憩<15分>

15:15-16:00 読書後のコーヒータイトム～グループディスカッションと全体シェア

16:00-16:50 ヒューマンライブラリーの作り方とフォローアップ事例について

16:50-17:00 おわりに

◆会場：早稲田大学 早稲田キャンパス 22号館（東京都新宿区西早稲田1-7-14）

アクセス/地図  <http://www.waseda.jp/gsjal/dat/Access.pdf>

◆講師：工藤和宏（獨協大学外国語学部専任講師）

◆コーディネーター：岡本能里子，神吉宇一（教師研修委員）

◆定員：30名

◆受講料：日本語教育学会会員4,000円，一般5,000円，学生3,000円 ※一度払い込まれた受講料はお返しいたしません。



社団法人日本語教育学会 2012年度日本語教師研修コース

◆**申込締切**：2012年10月19日（金） ※ただし、定員になり次第、締切り日以前でも募集を終了いたします。

◆**申込方法**：

参加申込書を日本語教育学会ホームページ <http://www.nkg.or.jp/menu-kenshu.htm> よりダウンロードして記入し、メール添付かFAXで事務局までお送りください。

※メールで応募する場合、タイトルは「HL研修（10月27日）申込」としてください。

※参加申込書が到着次第、折り返しEメールにて受講料の振込口座等をご連絡いたします。参加申込書を送って1週間以上経ってもメールで連絡がない場合は、未着の可能性がございますので、お手数ですが再度ご連絡ください。

※応募書類は返却いたしません。また、この募集に関して集めた個人情報は本研修の実施以外の目的には使用いたしません。

◆**申込書送付先と問合せ**：

(社)日本語教育学会 教師研修委員会事務局 Eメール：kyoshikenshu@nkg.or.jp

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-4-1 東方学会新館2F TEL：03-3262-4291 FAX：03-5216-7552

◆**その他**：参加者には事前に「本」の紹介をまとめた「ブックリスト」を配布します。

◆**参考文献**：

これは「課題」ではありません。参加できないけど興味がある方、研修前に少し勉強してみたい方、また研修後にもう少し勉強したいと思った方のために、最低限の文献情報を挙げておきます。

- ・加賀美常美代，横田雅弘，坪井健，工藤和宏 編著（2012）『多文化社会の偏見・差別——形成のメカニズムと低減のための教育』明石書店
- ・駒澤大学社会学科坪井ゼミ（2012）『ココロのバリアを溶かす——ヒューマンライブラリー事始め』人間の科学新社

以上

